

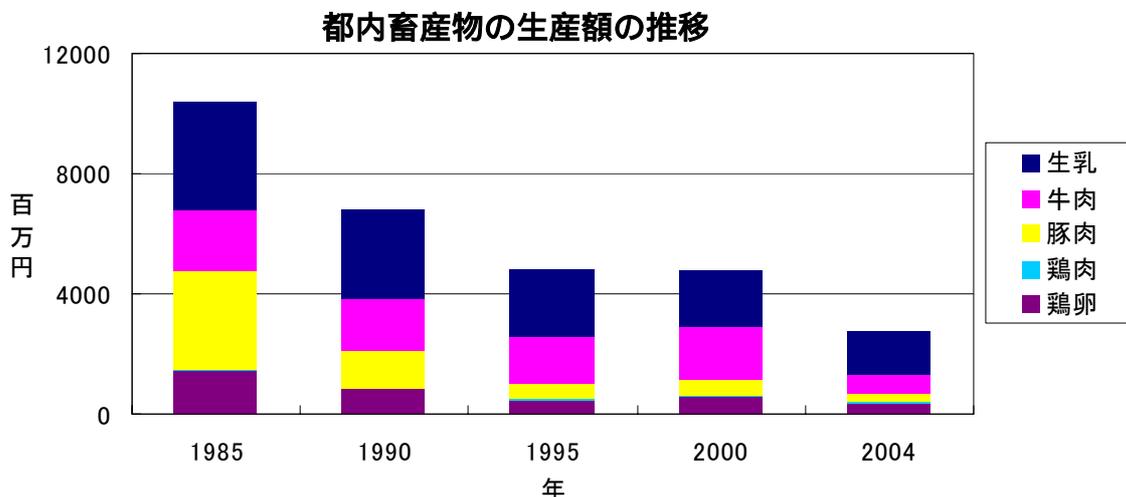
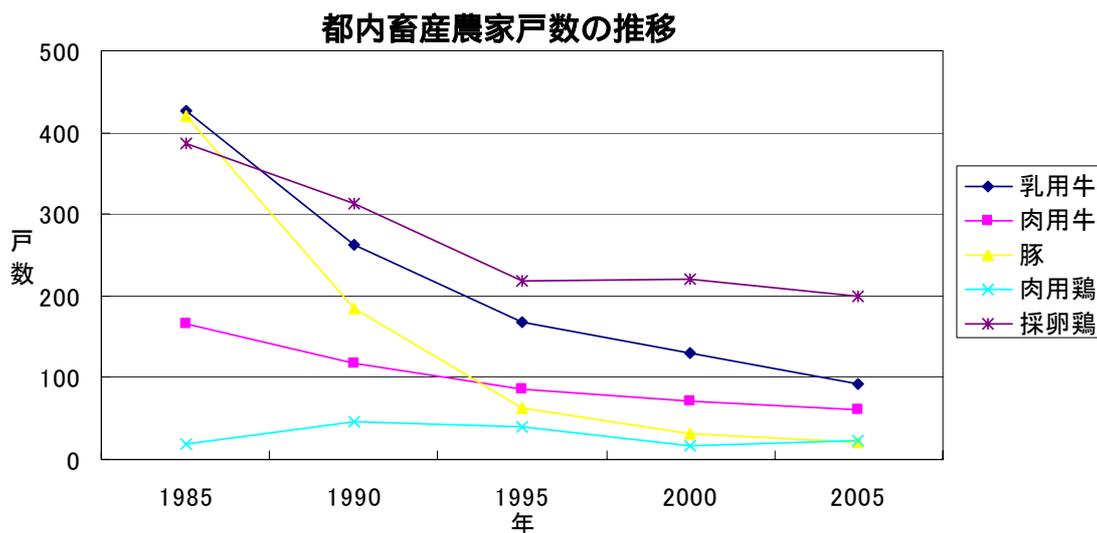
第2章 畜産の課題と今後の振興の方向

1 畜産農家の現状を捉え魅力的な畜産経営を創出

東京都での畜産農家数は長期的な減少傾向にありましたが、近年、都民の都心回帰と郊外の宅地開発の沈静化など都市化の圧力が少なくなったこともあり、減少傾向に歯止めがかかってきています。

畜産農家戸数および都内畜産物の総生産額の推移は、以下のとおりとなっています。

東京都は、このような畜産農家数の減少率が緩和している現状を好機として、魅力的な畜産経営を創出し、畜産農家数の維持と畜産業の発展を図ります。



参考

- ・大都市への人口集中により過密都市が生まれ、その反動でバブル期には郊外への過剰な人口拡散が生じました。その結果、空洞化した都心部の地価が下落し、「都市再生」の再開発が行われ、今は「通勤に便利」「交通機関への距離が近い」「日常生活が便利」な都心の高層マンションに移住する「都心回帰」現象が見られます。
- ・郊外では、宅地開発が沈静化する方向にあります。
- ・都内畜産農家の経営主のうち、70%以上（特に酪農では77%）が60歳以下であるか、すでに後継者がいる農家です。将来にわたり経営の継続が可能な農家が多いといえます。

都内家畜飼養頭羽数と畜産農家戸数

年	乳用牛		肉用牛		豚		肉用鶏		採卵鶏	
	飼養頭数	農家戸数	飼養頭数	農家戸数	飼養頭数	農家戸数	飼養羽数	農家戸数	飼養羽数	農家戸数
1985	7,691	427	4,219	167	27,953	421	725	18	378,835	386
1990	5,866	262	3,559	118	13,180	184	5,024	46	273,015	312
1995	4,582	169	2,422	87	6,277	63	7,896	39	187,238	218
2000	3,523	130	1,289	72	5,180	32	6,927	16	174,604	220
2005	2,624	92	966	60	4,356	21	8,598	24	143,270	200

都内産畜産物の生産量と供給力

(2003)

生産物	生産量(トン)	都民消費量(トン)	供給力
牛乳	15,506	639,657	約29万人分
鶏卵	1,865	132,327	約17万人分
食肉	1,268	350,780	約5万人分